

## 平成26年に発生した花火大会に伴う主な海難一例 【第三管区海上保安本部管内】

平成26年7月、プレジャーボート「A号」（7名乗り）は、花火大会が終了し、定係地へ向け航行を開始した直後、港内の水堤に衝突し、操船していた船長が海中転落、乗船者7名のうち3名が負傷したもの。

船体は、船首水線上に亀裂を伴う損傷を生じた。

【主な原因：見張り不十分】

平成26年7月、プレジャーボート「B号」（13名乗り）は、定係地以外の港で、花火大会の観覧客を乗船させたのち、花火大会会場向け航行中のところ、定置網に乗揚げ、航行不能となったもの。

負傷者等なし。

【主な原因：見張り不十分、水路調査不十分】

平成26年8月、プレジャーボート「C号」は、花火大会会場付近海域で、機関を停止し、花火大会を観覧後、機関を再起動しようとしたところ、左舷機が起動せず、左舷バッテリーから発煙し航行不能となったもの。

なお、同船は、以前からバッテリーの不具合が発生していたものの、十分なメンテナンスを怠っていた。

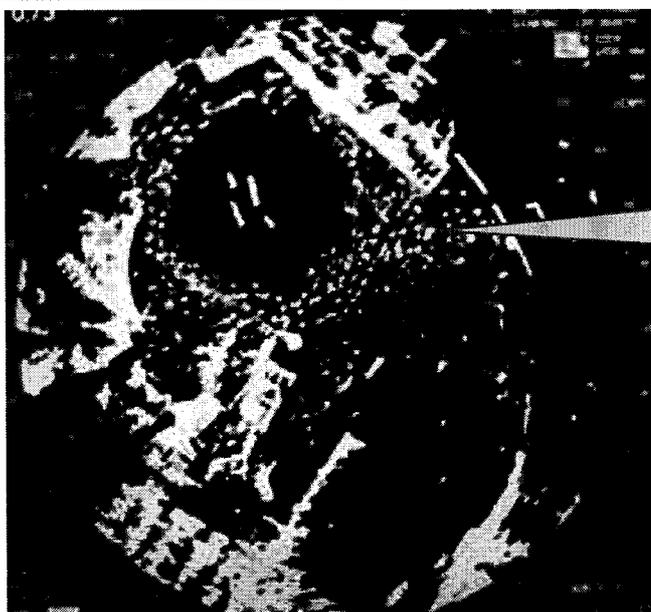
【主な原因：船体機器整備不良】

平成26年8月クルーザー・ヨット「D号」は、花火大会会場付近海域において、漂泊して、花火観覧していたが、風に圧流され船位が保持できず、自力航行が不能となったもの。

【主な原因：気象・海象不注意】

平成26年8月、クルーザー・ヨット「E号」は、花火大会観覧場所確保のため、港内を低速で航行中に船底及び推進機が浅瀬に乗揚げた感触があり、右舷機に振動が生じたが、継続航行し、定係地に入港後に点検したところ、機関室内に浸水が確認されたもの。

【主な原因：水路調査不十分】



### 花火観覧船の状況(レーダー映像)

- 青色点は花火観覧船
- 観覧船中央の黄色は花火台船
- 周囲の黄色は岸壁及び防波堤等

花火大会は、**夜間、狭い海域に多くの観覧船**が集まることから、船舶による**洋上花火見物**は、常に**危険と隣り合わせ**です！！